

綜合佛教研究所公開講座

# 近代日本佛教史上の 村上専精

講演 オリオン クラウタウ 先生  
(東北大学 准教授)

[日程] 2019年12月12日(木)

[時間] 16:30~18:00 (5時限目)

[場所] 総合佛教研究所 研究室1 (3号館4階)

本研究所では、東北大学准教授であるオリオンクラウタウ先生を講師にお迎えし、ご講演いただきます。予約不要および無料でどなたでも聴講できますので、ふるってご参加ください。

## 【講義概要】

明治期の佛教者が「宗教」という新概念に自己を如何に当てはめようとしてきたのかを考えることは、近代日本佛教思想の研究に取り組む者の中心課題のひとつである。本講演で取り上げられる村上専精(1851-1929)は正しく「佛教」の再定義に最も積極的に取り組んでいく佛者一人で、その活動の一環として1901年に「大乗非仏説」を提起したことで有名である。しかし、彼の事業はその主張に止まるものではなく、本講演は専精の事業全体を通史的に紹介し、近代日本佛教史における彼の位相を再考するものである。

【お問い合わせ先】 大正大学綜合佛教研究所 03-3918-7311 (代表)  
[https://www.tais.ac.jp/library\\_lab/sobutsu/lectureship/](https://www.tais.ac.jp/library_lab/sobutsu/lectureship/)